

ドイツ語（初級 B） 第 20 回 疑問代名詞 2 つ、現在分詞と過去分詞の形容詞用法

* 授業の進み方は教科書の順序とやや異なる。シラバスも参照。

範囲：教科書第 10 課 B, C (S. 41-42)、第 11 課 B (S. 45-46)

《今回の基本例文》

55. Sie sieht mich lächelnd an. (CD58-2)

彼女は微笑んで私を見つめている。

[**現在分詞**の副詞的用法、(分離動詞)]

56. Ein Reisender in diesem Zug hat keine Fahrkarte. (CD58-4)

この電車の乗客のうち一人、切符を持っていない者がいる。

[**現在分詞**の名詞化用法 (混合変化)]

57. Sie erzählt von längst vergangenen Tagen. (CD59-2)

彼女はとうに過ぎ去った日々のことを物語っている。

[**過去分詞** (強変化)、**過去分詞** (非分離動詞)、**過去分詞**の付加語的用法 (強変化)]

58. Sind Sie ledig, verheiratet oder geschieden? (CD59-3)

あなたは独身ですか、結婚されていますか、それとも離婚経験がおありですか？

[**過去分詞** (弱変化)、**過去分詞** (非分離動詞)、**過去分詞** (強変化)、**過去分詞**の述語的用法]

I 疑問代名詞 *welcher* と *was für ein*

第 10 課 C. 疑問代名詞 *welcher* と *was für ein* (S. 42)

■ 疑問代名詞のまとめ

◇ すでに授業第 3 回で、覚えてもらうべき主要な**疑問代名詞**を整理したことがある（以下は復習）。

疑問詞	英語	意味	文法	備考
was	<i>what</i>	何が、何を	1 格、4 格	
wer	<i>who</i>	誰が	1 格	3 格は <i>wem</i> 、4 格は <i>wen</i> 。
wo	<i>where</i>	どこで	副詞	英語と異なり、この 3 者は区別する。
woher	<i>from where</i>	どこから	副詞	
wohin	<i>to where</i>	どこに	副詞	
wann	<i>when</i>	いつ	副詞	
warum	<i>why</i>	なぜ	副詞	
wie	<i>how</i>	どのように	副詞	

◇ ほか、名詞の前に置いて形容詞的に機能する疑問代名詞が存在する。ここでは下記 2 つを学ぶ。

疑問詞	英語	意味	文法
welcher	<i>which</i>	どの、どちらの	形容詞
was für ein	<i>what kind of</i>	どのような	形容詞

1 welcher

◇ **welcher** は文法的には疑問代名詞で、すでに提示されているいくつかの選択肢から「どの～、どちらの～」と選ばせる際に用いる（英語における *which* に相当）。

◇ 格変化は定冠詞型（*dieser* 型）。（⇒教科書 S. 19）

	男性	女性	中性	複数
1 格	welcher	welche	welches	welche
2 格	welches	welcher	welches	welcher
3 格	welchem	welcher	welchem	welchen
4 格	welchen	welche	welches	welche

◇ **welcher** の例文。

Mit welcher Straßenbahn fährt man zum Bahnhof?

どの路面電車で駅に行くのですか？

- Mit der Linie 8.

8 番線です。

* 3 格支配の前置詞と **welcher**+名詞が結んでいる場合。当然、**welcher**+名詞は 3 格になる。

Welches Kleid gefällt dir?

どのドレスが気に入りましたか？

- Das rote Kleid da gefällt mir.

あの赤いドレスが気に入りました。

* **welcher**+名詞が主語（1 格）である場合。

2 was für ein

◇ **was für ein** も疑問代名詞で、**welcher** とは異なり、選択肢が提示されていないとき「どのような～」を答えさせる際に用いる（英語における *what kind of* に相当）。

◇ 格変化は不定冠詞 **ein** に準じる。ただし、複数形の不定冠詞はないので、複数形の場合は無冠詞の **was für** となる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	was für ein	was für eine	was für ein	was für
2 格	(was für eines)	(was für einer)	(was für eines)	(was für)
3 格	was für einem	was für einer	was für einem	was für
4 格	was für einen	was für eine	was für ein	was für

◇ **was für ein** の **für** からは 4 格支配の前置詞としての役割は消えており、修飾する名詞に応じて格変化する（下記の例文も参照）。

* もし **was für ein** の **für** に 4 格支配の前置詞としての役割が残っていたとすると、**was für einem** や **was für einer** というかたちは成り立たないことになる（**einem** は男性 3 格と中性 3 格、**einer** は女性 2 格と女性 3 格の不定冠詞であるため）。しかし、**was für ein** 全体で一つの疑問代名詞と考え、それが男性 3 格や中性 3 格につくなら **was für einem**、女性 3 格につくなら **was für einer** のかたちをとる（2 格につく場合は少ない）。

◇ was für ein の例文。

Was für einen Wagen fahren Sie?

どんな車にお乗りですか。

- Einen BMW.

BMW です。

* was für ein＋名詞が 4 格目的語である場合。この fahren は他動詞「〈4 格〉を運転する」。

** BMW はドイツ語読みすること。なお、BMW は Bayerische Motoren Werke（バイエルン発動機械）の略称で元の名称は複数形であるが、男性単数扱いすることになっている。よって、ここでは einen BMW と答えている。

Bei was für einer Firma arbeitet er jetzt?

どんな会社で彼はいま働いていますか。

- Bei einer Fluggesellschaft.

航空会社です。

* 3 格支配の前置詞 bei と was für ein＋名詞が結んでいる場合。当然、was für ein は 3 格になる。

** 前述のように für からは 4 格支配の前置詞としての役割は消えているので、*was für eine Firma...にはならない。

練習 1

() 内の疑問詞はすべて男性単数 1 格になっている。適当なかたちに直せ。

1. (Welcher) Zimmer nimmst du?

どちらの部屋を取りますか。

2. (Welcher) Mann meinst du?

どちらの男性のことを言っていますか。

3. Mit (welcher) Zug kommen Sie?

どちらの列車でいらっしゃいますか。

4. In (welcher) Stadt soll ich wohnen?

私はどちらの町に住めばよろしいのですか。

5. (Was für ein) Gericht isst du gern?

どんな料理がお好きですか（どんな料理を好んで食べますか）。

6. (Was für ein) Blumen kaufen Sie der Frau?

どんな花を奥さんに買ってあげるのですか。

7. Mit (was für ein) Feder schreiben Sie?

どんなペンでお書きになりますか。

8. In (was für ein) Welt leben wir?

私たちはどんな世界に住んでいるのであろうか。

II 現在分詞と過去分詞の形容詞用法

第 10 課 B. 現在分詞の用法 (S. 41)

■ 現在分詞の形容詞としての用法

現在分詞 = 不定詞 + d (～している、～している最中の)

◇ ドイツ語にも**現在分詞**が存在し、**不定詞+d**によってつくられる。次の 2 つは例外。

- ・ sein → **seiend**
- ・ tun → **tuend**

* もちろん、英語の現在分詞 (～ing) と同じ概念である。ただし、ドイツ語には進行形はないので、現在進行形や過去進行形としては使用せず、もっぱら「～している (最中の)」という形容詞として用いる。

練習 2

次の動詞の現在分詞を答えよ。

1. lernen 2. tanzen 3. machen 4. antworten 5. angeln 6. studieren 7. verstehen 8. an|rufen
9. mit|bringen 10. aus|steigen

◇ ドイツ語には進行形 (現在進行形、過去進行形など) がないため、英語とは用法が異なり、ほぼ「**～している (最中の)**」という**継続中の動作**を表す**形容詞**としてのみ使用される。

◇ 現在分詞は基本的に形容詞なので、述語的用法、付加語的用法、副詞的用法、名詞化用法のすべての用法が存在する。付加語的用法や名詞化用法については、格変化も形容詞とまったく同じ。

《形容詞の復習》

用法：a) 付加語、d) 名詞化 (格変化あり)

b) 副詞、c) 述語 (格変化なし)

格変化：無冠詞 → 強変化

定冠詞 (型) つき → 弱変化

不定冠詞 (型) つき → 混合変化

* 強変化／弱変化／混合変化の表は教科書 S. 39-40 を、それらの覚え方は授業第 17 回配付資料 S. 3-4 を参照のこと。

◇ 現在分詞の使用例。

a) das kochende Wasser (kochen → kochend、弱変化の中性 1 格)

湧いているお湯。(付加語)

* kochen は cook に対応し、他動詞だと「〈4 格〉を煮る、料理する」、自動詞だと「沸騰する」。

die demonstrierenden Studenten (demonstrieren → demonstrierend、弱変化の複数 1 格)

デモをしている学生たち。(付加語)

b) kochend heißes Wasser (kochen → kochend)

煮え立っている熱いお湯。(副詞)

* a) と異なり、kochend は Wasser ではなく形容詞 heiß にかかる副詞。だから格変化はしない。

Sie kommt schimpfend herein. (schimpfen *vi.* 悪口を言う → schimpfend)

彼女は文句を言いながら入ってくる。(副詞)

* herein|kommen (入ってくる) は分離動詞。

d) Die Reisenden sollen ihre Pässe zeigen. (reisen → reisend、弱変化の複数 1 格)

旅行者はパスポートを提示しなければならない。(名詞化)

* reisen (旅行する) に対して reisend は「旅行中の」、それを複数で名詞化した die Reisenden は「旅行中の人々」。

** 形容詞の名詞化について忘れた人は、教科書 S. 41 を参照。

◇ 現在分詞の述語的用法は、完全に形容詞化したもの（＝辞書に形容詞として掲載されているもの）しか成立しない。英語の進行形のつもりで sein＋現在分詞を使ってはならない。

c) ○ Das Mädchen ist reizend. (reizen *vt.* 〈4 格〉を刺激する → reizend)

その女の子は魅力的である。(述語)

○ The girl is running.

× ~~Das Mädchen ist laufend.~~

→ ○ Das Mädchen läuft.

その女の子は走っている。

* 英語の現在進行形は、ドイツ語では現在形で表してよい。ただし、どうしても「ちょうど～するところだ」と言いたい場合、そのための表現も存在する。（⇒教科書 S. 65）

** laufen の現在分詞 laufend も形容詞として辞書に掲載されているが、「(通貨などが) 流通している、稼働している、現在進行中の」などの意味である。

第 11 課 B. 過去分詞の用法 (S. 45)

■ 過去分詞の形容詞としての用法

◇ 過去分詞も、現在分詞と同じく、形容詞としての用法を持つ。

◇ 過去分詞を形容詞として使用する場合にも、述語的用法、付加語的用法、副詞的用法、名詞化用法のすべての用法が存在する。付加語的用法や名詞化用法については、性数格変化も形容詞とまったく同じ。本配付資料 S. 4 の《形容詞の復習》も参照。

◇ 形容詞としての過去分詞の意味は、他動詞の場合、英語と同じく「～された」という受動の意味であるが、sein 支配の自動詞に限っては「～した」という能動の完了の意味となる（こちらは英語には存在しない）。それ以外の自動詞には、過去分詞の形容詞用法は存在しない。

他動詞の過去分詞：「～された」という受動

sein 支配の自動詞の過去分詞：「～した」という能動の完了

* sein 支配と haben 支配については、教科書 S. 49 および授業第 19 回を参照。

◇ 他動詞の過去分詞（＝受動）の例。

a) das geteilte Deutschland (teilen *vt.* 〈4 格〉を分ける → geteilt、弱変化の中性 1 格)

分割されたドイツ (付加語)

das vereinigte Deutschland (vereinigen vt. 〈4 格〉を統合する → vereinigt、弱変化の中性 1 格)
統合されたドイツ (付加語)

* vereinigen は非分離動詞のため、過去分詞に ge-がつかない。 (⇒教科書 S. 44)

** 前者は 1949 年の東西ドイツの分裂、後者は 1871 年のドイツ帝国の成立もしくは 1990 年の東西ドイツ再統一のこと。後者の東西ドイツ「再統一」には、wieder|vereinigen という分離動詞を使うこともある。その場合、「再統一されたドイツ」は das wiedervereinigte Deutschland となる。

d) Der Rettungswagen bringt die Verletzten ins Krankenhaus. (verletzen → verletzt、弱変化の複数 4 格)

救急車が負傷者たちを病院に運び込む。(名詞化)

* verletzen (〈4 格〉を傷つける) に対して verletzt は「負傷した」、それを複数で名詞化した die Verletzten は「負傷者たち」。

上と同様、verletzen は非分離動詞のため、過去分詞に ge-がつかない。 (⇒教科書 S. 44)

** ins は in+das の融合形。 (⇒教科書 S. 23)

◇ sein 支配の自動詞の過去分詞 (= 能動の完了) の例。

a) die angekommenen Gäste (an|kommen → angekommen、弱変化の複数 1 格)

到着した客たち (付加語)

* Gäste は Gast (m.) の複数形。

b) Sie verlässt verzweifelt das Haus. (verzweifeln vi. 絶望する → verzweifelt)

彼女は絶望して家を出ていく。(副詞)

* 「絶望する」は希望から絶望への「状態の変化」と考え、verzweifeln は sein 支配となる。

◇ 過去分詞の述語的用法は、現在分詞と同じく、完全に形容詞化した過去分詞 (= 辞書に形容詞として掲載されているもの) に対してしか成立しない。

* それ以外の過去分詞を sein の述語にすると、のちに学ぶ「状態受動」になってしまう。 (⇒教科書第 14 課)

c) Der Film ist ausgezeichnet. (aus|zeichnen vt. 〈4 格〉を際立たせる → ausgezeichnet)

その映画は素晴らしい。(述語)

* ausgezeichnet は他動詞の過去分詞のため、受動の意味 (直訳だと「際立たせられた」) になる。

■ 練習問題の補足

Übung1 (S. 46)

2. 「状態の変化」を表す自動詞 vergehen (過ぎ去る、消滅する) は sein 支配であり、その過去分詞 vergangen は「過ぎ去った」という能動の完了の意味になる。また、von et³. erzählen で「〈3 格〉について物語る」。ゆえに von längst ____ Tagen の空欄部分は複数 3 格に相当する。

連絡先など

教員のメールアドレス : tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり) : <https://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>